

基本事業評価シート 1-1-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	人権施策推進事業			担当課	人権施策課					
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			
	基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成				基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成			
						重点施策該当項目	-			
基本事業の概要	人権尊重の社会実現のため、協議会の開催、研修等の実施及び教育活動を行う									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	社会			市民一人ひとりが、お互いの人権を尊重し合い、共に生きることのできる社会の実現を目指す。						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
集会の参加率	参加者数÷座席数(定員数)	%	51.7	60	42	50	33.9	50	50	参加者の年齢層や人口減少を考慮し、現状維持を目標とする。
地区懇談会参加人数	各校区の参加者の合計人数	人	181	150	553	400	413	400	400	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価	
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					令和8年度の方向性
			指標	目標値	実績値									
1	人権協議事業費	事業費	245	245	204	85.0	5	3	4	A	協議会は、多様性など変化に応じて協議する必要があることから継続して実施する。			
		協議会出席率	80.0	80.0	80.0									
			80.0	80.0	76.9									
2	人権啓発事業費	事業費	2,299	2,344	2,411	45.0	3	4	4	A	ポスター・人権啓発冊子「扉」作成においては予算よりも低い業者と契約し事業を実施するとともに、図案の変更を行った。	既に改善済み		
		ポスター・標語応募率	42.0	42.0	44.0									
			46.6	44.1	45.6									
3	犯罪被害者等支援事業	事業費	121	122	221	3.0	4	4	4	A	犯罪被害者等にとって住所地の自治体が身近な相談場所であることから、対応に備えて研修等への参加を継続していく。			
		研修・講演会等参加回数	3.0	3.0	3.0									
			3.0	2.0	3.0									
4	人権教育事業費	事業費	3,542	3,503	3,600	1,300	3	4	3	B	専門家による研修会等の実施により、人権尊重の理念の浸透に効果を発揮しているが、広報の検討等を行い、今まで参加してこなかった層へ参加を促す。	既に改善済み		
		セミナー等参加人数	1,100	1,200	1,300									
			1,056	1,340	1,672									
5	その他経費	事業費	1,171	7,753	2,339									
事業費(決算額)の合計			7,378	13,967	8,775									
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)		637	528	553									
	一般財源		6,741	13,439	8,222									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)


【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-1-②

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	青少年会館運営事業			担当課	人権施策課					
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			
	基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成				基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成			
						重点施策該当目	-			
基本事業の概要	子ども同士が人権について学んだり、自他を大切にしようとする力をつけられるよう、各施設において、勉強や体育館での運動など日々の活動や子ども人権学習を実施する。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)				SDGsアイコン		
	市民(主に子ども)			交流することで仲間づくりから社会参加へと健全な発達につなげてほしい						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
子ども人権活動平均参加人数	参加人数(全館合計)÷実施回数(全館合計)	人	7.0	7.4	9.4	7.5	7.5	8.0	8.0	少子化の影響から参加人数の減少を考慮する。利用者が固定のため変動は見られないと考える
体育館利用件数	3館の合計件数	件	274	270	270	270	271	270	270	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性				
			指標	目標値	目標値								
1	子ども人権活動事業	事業費	1,167	974	948	180	2	1	2	C	少子化がいわれ、年々児童・生徒数は減少している。活動への参加者が増加している館もあるが、事業内容を再考しないと増加は難しいと考える。それから、児童・生徒が来館するのは午後なので青少年会館指導員の勤務をフルからパートへ変更して予算に伴う改善を行った。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		子人権活動実施回数	110	110	130								
2	会館利用事業	事業費	-	-	115	500	2	3	4	C	利用者が固定のため、新規はなく増加は見込めない。また、施設や備品等は年数が経過しているが、補修等も望めない。そのような中で利用者増という改善は難しいと考える。	R8年度に改善に着手する予定	
		時間外会館利用人数			700								
3	その他経費	事業費	13,673	12,884	14,265								
4		事業費											
事業費(決算額)の合計			14,840	13,858	15,328								
事業費(決算額)の内訳			特定財源(国・県支出金、市債など)	0	0	0							
			一般財源	14,840	13,858	15,328							

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)


【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額(千円)
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-1-③

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	隣保館運営事業			担当課	人権施策課					
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			
	基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成				基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成			
						重点施策該当項目	-			
基本事業の概要	地域住民の福祉の向上や人権啓発のための「住民交流・文化活動の拠点」として文化教養事業等を行う。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	市民			人権意識を高めるとともに、年齢を重ねても何かを楽しみ、生きがいをもってほしい						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
生きがいサービス平均参加者数	利用合計人数÷全回数	人	4.8	4.5	4.4	4.6	5.1	4.5	4.8	人口減少を考慮した上で参加者数の現状維持を目標とする。
各種講座のべ参加人数	各館各種講座のべ参加人数合計	人	1,588	1,500	3,437	3,000	3,192	3,000	3,000	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価	
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					令和8年度の方向性
			指標	目標値	目標値									
1	生きがい活動支援事業	事業費	2,675	2,973	3,346	450	4	3	2	B	現時点で再開できていない入浴に係るボイラーや電位治療器の点検手数料を令和7年度予算に計上しなかった。だから、今後は「入浴」は無いことをふまえた上で、どのような支援が出来るかを改めて考える必要がある。	R7年度予算に計上し改善に着手する必要がある。		
		利用者数	450	426	500									
2	地域交流支援事業	事業費	3,342	2,940	2,977	460	4	3	3	B	各教室参加者数や施設利用者数が伸び悩んでいることから、講座等の再考とともに予算削減を検討しながら、参加者・利用者数の増加を図る。	R8年度に改善に着手する予定		
		講座実施回数	460	452	466									
3	その他	事業費	12,680	13,910	7,322									
4		事業費												
事業費(決算額)の合計			18,697	19,823	13,645									
事業	特定財源(国・県支出金、市債など)		30,575	30,670	31,074									
	一般財源		-11,878	-10,847	-17,429									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)



【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-1-④

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	男女共同参画推進事業				担当課	人権施策課				
まちづくりの指針後 期期間（最終年度R 9）における位置づ け	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くま ちづくり			【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くま ちづくり			
	基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び 平和を願う市民意識の醸成				基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平 和を願う市民意識の醸成			
						重点施策該当項目	—			
基本事業の概要	男女共同参画社会の実現に向け、行政だけでなく市民・事業者・関係団体等と連携・協働し、地域社会がいったいとなった取組を行 う。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいか)				SDGsアイコン	
	市民・事業者・関係団体				あらゆる分野において、性別にかかわらず互いにその 人権を尊重し、市民一人ひとりが心豊かに暮らせる男女 共同参画社会の実現をめざす				 	
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終 年度(R9)目標 値	目標値設定の理 由・考え方
政策・方針決定の場への女性の参 画推進率	女性委員人数÷審議会等委員数×100	%	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	35	市民・事業者・団 体等へ情報提供等
講座・イベント等参加者数	人数をカウント	人	318	500	360	500	368	500	500	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期期間最 終年度(R9)目 標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及 び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7 年度時点での 改善事項の 実施状況	重点 化評価
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		妥当 性	有効 性	効率 性				
			指標	目標値	目標値								
1	男女共同参画審議会 事業	事業費	61	71	82	2	4	3	3	実施方法改善	B	男女共同参画計画に基づく施策にお ける前年度の推進状況調査を行い、審議 会において年次報告及び検証を行う。	予算を伴 わない改 善に着手
		審議会開催 回数	2	2	2					1			
2	男女共同参画推進事 業	事業費	365	365	257	10	4	3	3	実施方法改善	B	市民・事業者・関係団体等に男女共同 参画に関する講座等を実施し、男女共同 参画推進の向上を図る。	予算を伴 わない改 善に着手
		講座等開催 件数	10	10	10					6			
3	男女共同参画情報誌 作成事業	事業費	908	908	908	1	3	4	3	実施方法改善	B	男女共同参画情報誌「はーもにー」を制 作し、全世帯に配付することで市民等の 男女共同参画意識の醸成を図る。	R7年度 予算に計 上し改善 に着手
		情報誌発行 回数	1	1	1					1			
4		事業費											
事業費(決算額)の合計			1,335	1,345	1,247								
事業費(決算額)の 内訳	特定財源(国・県支出金、 市債など)		0	0	0								
	一般財源		1,335	1,345	1,247								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)





【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-1-⑤

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	女性相談事業			担当課	人権施策課					
まちづくりの指針後 期間（最終年度R 9）における位置づ け	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くま ちづくり		【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くま ちづくり				
	基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び 平和を願う市民意識の醸成			基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平 和を願う市民意識の醸成				
					重点施策該当項目	—				
基本事業の概要	女性が抱える様々な問題についてフェミニストカウンセラーが相談に応じる。関係機関と連携し、支援体制の確立を図る。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	支援、一時保護が必要な女性等			困難な状況に置かれている女性等が安心して暮らせる			 			
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終 年度(R9)目標 値	目標値設定の理 由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
女性相談	女性相談終了人数	人	9	5	5	3.3	5	3.1	相談件数の 10%	相談終了した人数

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期間最終 年度(R9)目標 値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及 び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年 度時点での改善事 項の実施 状況	重点 化評 価	
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		妥当 性	有効 性	効 率 性					令和8年度 の方向 性
			指標	目標値	目標値									
1	女性相談事業	事業費	725	726	726	72	4	3	3	B	相談窓口の周知徹底に努める。	R7年度 予算に計 上し改善 に着手		
		相談件数	108	108	108									50
2	DV被害者等移送事業	事業費	0	0	11	0	4	3	3	B	被害者等が必要に応じた支援に繋がるよ う、関係課・関係機関と連携を図る。	予算を伴 わない改 善に着手		
		移送件数	0	0	0									0
3		事業費												
4		事業費												
事業費(決算額)の合計			725	725	737									
事業費(決算額)の 内訳	特定財源(国・県支出金、 市債など)		0	0	0									
	一般財源		725	725	737									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-1-⑥

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	人権教育振興事業			担当課	学校教育課					
まちづくりの指針後 期期間（最終年度R 9）における位置づ け	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くま ちづくり		【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くま ちづくり				
	基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び 平和を願う市民意識の醸成			基本施策	1-1 人権を尊重する社会の実現及び平 和を願う市民意識の醸成				
					重点施策該当項目	-				
基本事業の概要	大和高田市人権教育研究会が実施する事業に対して補助することで、研修会等を開催。各校においては、教育推進教員の配置、人権教育講演会の開催や、様々な交流活動の実施を通して、学校ごとに人権教育の充実に努めている。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	園児・児童・生徒・教職員及び市民			人権を尊重する意識や態度を育めるよう 環境を整えたい						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終 年度(R9)目標 値	目標値設定の理 由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
教育推進教員 (小学校)配置率	教育推進教員数/小学校数	%	100	100	100	100	100	100	各小学校に1名の 教育推進委員の配 置を維持	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期期間最 終年度(R9)目 標値	評価視点			総合評価	令和7年 度時点での 改善事項の 実施状況	重点 化評価	
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		妥当 性	有効 性	効率 性				令和8年度の 方向性
			指標	目標値	目標値								
1	人権教育推進事業費	事業費	2,949	2,808	2,820	8校	5	5	3	B	実施方法改善 小学校への人権教育推進教員の配置、 園児・児童・生徒・教職員及び市民を対 象とした研修等の実施による、人権教育 の充実を目的としている事業である。発 達段階に応じて人権尊重の理念に対す る理解を深め、自他の人権の実現と擁護 のために、必要な能力や資質を育成して いる。教員の働き方改革の観点からも教 育推進教員の時間外勤務の見直しにつ いて各小学校に啓発し超過勤務の削減 に努める。	予算を伴 わない改 善に着手	
		教育推進 教員配置校	8	8	8								
2		事業費											
		活動指標を 設定し、その 内容を記載 してください											
3		事業費											
		活動指標を 設定し、その 内容を記載 してください											
4		事業費											
		活動指標を 設定し、その 内容を記載 してください											
事業費(決算額)の合計			2,949	2,808	2,820								
事業費(決算額)の 内訳	特定財源(国・県支出金、 市債など)		0	0	0								
	一般財源		2,949	2,808	2,820								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)



【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-2-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	文化会館管理運営事業			担当課	文化振興課						
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり				
	基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				
						重点施策該当目					
基本事業の概要	大和高田市文化会館等での主催事業及び施設管理に関する業務										
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)					SDGsアイコン		
	市民及び文化会館利用者・利用希望者			多彩で良質な芸術文化に触れる機会の提供及び、施設を安全・安心・快適に利用できる環境を整えることにより、文化芸術の振興と魅力及び活力ある地域社会の形成を目指す。							
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方	
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値			
自主事業入場者数	自主事業公演の入場者数の総計	人	4499	7200	5851	7300	5839	7400	7500	自主事業公演の定員100%の集客数	
施設利用率(大ホール)	利用日数÷利用可能日数×100	%	54.6	53	53.2	55	53.4	56	60	これまでの利用率を考慮した、部屋別の目標値を設定	
施設利用率(小ホール)	利用日数÷利用可能日数×100	%	60.3	61	59.8	62	57.1	63	65		
施設利用率(展示ホール)	利用日数÷利用可能日数×100	%	43.5	53	54.1	55	44.0	56	60		

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	令和8年度の方向性の評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					
			指標	目標値	実績値									
1	自主事業公演事業	事業費	15,853	17,097	15,373	15	3	4	2	B	実施方法改善 補助金や助成制度を積極的に活用し、コスト削減に努めながら、公演内容はこれまでの実績を活かして充実させるよう努める。	予算を伴わない改善に着手		
		公演回数	18	19	19									
2	文化会館施設管理事業	事業費	115,846	112,512	113,297	50	4	4	2	B	施設管理に関しては業務委託しており、コスト削減を図りながら、日々利用者が安心・安全に利用できるよう努めている。他館の閉館等により、今後さらなる利用者数の増加が見込まれるため、市内外の企業等への利用案内の広報や学生等の利用促進のため方策を講じる。	R7年度予算に計上し改善に着手		
		附属設備・貸出備品等の点検実施数	50	50	50									
3	貸館受付事業	事業費	1,571	1,619	1,584	0	3	4	1	B	他館の閉館や休館の影響で利用者数の増加が見込まれるため、窓口のキャッシュレス化等を含め、事務の効率化とシステムの改修を検討し、人件費をはじめとするトータルコストを抑えながら、増加する受付業務への対応を図る。	R8年度に改善に着手する予定		
		苦情件数	0	0	0									
4	施設整備事業	事業費	3,731	6,476	4,519	10	4	3	2	B	開館から28年経ち、修繕箇所も増える一方で、危険性、緊急性、利用頻度等により優先順位をつけて修繕しているが、想定外の故障や、古い部品が入手困難なことも頻発しており、今後の施設存続の方針も明確にした改修計画を立てる。	R8年度に改善に着手する予定		
		修理・修繕件数	10	10	10									
事業費(決算額)の合計			137,001	137,704	134,773									
事業費(決算額)の内訳			特定財源(国・県支出金、市債など)											
			一般財源	137,001	137,704	134,773								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)


【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-2-②

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	歴史文化振興事業			担当課	文化振興課					
まちづくりの指針後 期間（最終年度R 9）における位置づ け	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くま ちづくり		【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くま ちづくり				
	基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備			基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備				
					重点施策該当目					
基本事業の概要	市民劇団による演劇上演、奥田の運取り行事支援、歴史文化セミナーの開催、大和高田八景作品展の事業を委託し、地域の資源を活かした歴史文化の振興を図る。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	市民			大和高田に残されている歴史的景観、郷土に伝わる歴史史料、民話、伝説や伝統行事など紹介し、暮らしに生かしながら、新たな文化を創造する						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終 年度(R9)目標 値	目標値設定の理 由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
市民劇団の公演来場者数	劇団公演の来場者の総計	人	96	280	284	320	219	350	500	昨年度の実績値を 考慮して設定
奥田運取り行事支援事業	観覧者数	人	600	600	500	600	600	600	600	
市主催歴史文化振興事業参加者	歴史文化セミナー受講者及び 八景作品展出展者の合計	人	0	0	0	0	0	0	0	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期間最終 年度(R9)目 標値	評価視 点			総合評価 令和8年度の 方向性 評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及 び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年 度時点での 改善事項 の実施 状況	重点 化評 価
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		妥当 性	有効 性	効率 性				
			指標	目標値	目標値								
1	市民劇団による 演劇上演事業	事業費	552	762	645	4	3	4	3	実施方法改善	貴重な演劇上演の機会として、本公演を実施しているが、集客に苦戦している。上演料や大道具などのコスト削減に努めた上で、広報活動をより積極的に行い、話題性のある内容で集客に繋げる。	R8年度 に改善に 着手する 予定	
		公演回数	4	4	4					B			
			2	2	2								
2	奥田運取り行事 支援事業	事業費	830	604	797	600	3	4	4	現状維持	今後も観覧者増加に向けた支援事業を実施していく。		
		観覧者数 (概算)	600	600	600					A			
			600	500	600								
3	市主催歴史文化振興 事業	事業費	243	259	303	5	3	4	3	実施方法改善	他部署との事業調整・統合により効率化とコスト削減を図りつつ、広報や内容の工夫で多様な参加ニーズに応える。併催企画などを通じて出展・来場者の拡大及び参加の裾野を広げる。	R8年度 に改善に 着手する 予定	
		実施回数	4	4	4					B			
			3	3	3								
4		事業費											
事業費(決算額)の合計			1,625	1,625	1,745								
事業費(決算額)の内訳			特定財源(国・県支出金、市債など)										
			一般財源		1,625	1,625	1,745						

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額(千円)
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-2-③

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	スポーツ振興事業		担当課	スポーツ振興課						
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり		【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり				
	基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備			基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				
					重点施策該当項目	-				
基本事業の概要	市民の健康増進およびスポーツの振興を推進するため、スポーツ教室や市民体育大会等の各種大会を開催する。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン				
	市民		各種スポーツ専門の指導者や専門家による指導と、各体育大会などへの参加を通じて、スポーツに触れる機会と体験の場を広く提供し、新たなスポーツ人口の拡大と市民の健康増進を図りたい							
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
スポーツ教室参加総数	参加者をカウント	人	3,065	3,655	3,170	3,655	2,845	3,655	3,655	予定する定員数
スポーツ関連大会参加総数	参加者をカウント	人	2,894	5,650	2,861	5,650	2,005	5,650	5,650	
スポーツ振興施設利用者数	利用者をカウント	人	76,644	70,500	80,448	73,000	76,870	77,000	80,000	増加を目指す

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性				
			指標	目標値	目標値								
1	スポーツ教室開催事業	事業費	755	755	715	166	4	5	4	A	総合体育館を開催場所とするものについては、同体育館を閉鎖する方向を示していることから、今後代替場所の提供を模索する必要があり、代替場所によっては内容の縮小等が発生する見込み		
		市主催スポーツ教室実施数	163	166	166								
			163	166	158								
2	スポーツ大会開催事業	事業費	1,004	2,201	2,494	3	4	4	3	B	令和7年度より、予算削減のため一部大会の取りやめや、規模縮小を予定している。投じるコストを考慮しつつ、市民のスポーツ参加へ悪影響が出ないよう、今後の在り方を検討していきたい。	R8年度に改善に着手する予定	
		スポーツ関連大会実施数	4	4	4								
			2	3	1								
3	他スポーツ大会・教室委託費	事業費	2,086	2,086	2,206	16	4	4	4	A	総合体育館を開催場所とするものについては、同体育館を閉鎖する方向を示していることから、今後代替場所の提供を模索する必要がある。代替場所は主に学校体育館となるが、一部種目において代替不可となる見込みとなるものがある。		
		大和高田市体育協会主催スポーツ教室の開催種目数	16	16	16								
			16	16	16								
4	スポーツ振興施設管理運営事業	事業費	53,741	60,136	59,267	0	4	3	3	B	総合体育館は耐震性に問題があり、安全面から閉鎖を検討している。武道館及び総合公園はともに一定の利用者数があるが、施設の老朽化や修繕時期の到来により、今後の改修や事業継続の在り方について検討が必要である。	R8年度に改善に着手する予定	
		利用者数	70,500	73,000	77,000								
			76,644	80,448	76,870								
5	その他の経費	事業費	14,618	6,959	6,495								
事業費(決算額)の合計			72,204	72,137	71,177								
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)		0	0	0								
	一般財源		72,204	72,137	71,177								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)


【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-2-④

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	社会教育振興事業		担当課	生涯学習課						
まちづくりの指針後 期間（最終年度R9） における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり		【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり				
	基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備			基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				
					重点施策該当項目					
基本事業の概要	市民の学びと交流を支え、心の豊かさや生きがいを育むことを目的に、図書館では情報提供を通じて学習意欲を高め、公民館では各種定期講座や諸行事を開催する									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	市民及び図書館利用者			生涯学習への参画を促し、社会教育活動の活性化を図る						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
中央公民館の自主グループ利用回数	中央公民館利用状況調	回	2,276	2,500	2,408	2,500	2,129	2,000	0	中央公民館は利用回数減少を目標とし、分館は利用回数増加を目標とする
分館の自主グループ利用回数	分館利用状況調	回	515	550	545	600	594	650	800	図書館貸出者数の増加を目標とする。
図書館貸出者数	図書館月報等実数	人	50,499	55,000	51,030	55,000	51,484	55,000	55,000	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	令和8年度の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					
			指標	目標値	実績値									
1	中央公民館主催定期講座運営事業	事業費	2,540	2,670	2,934	20講座 400回	4	3	4	A	現状維持	新しい講座を講師謝礼を支払わない「準・定期講座」として開催することで、予算を増額せずに定期講座数、受講者数を増やし、生涯学習の推進を図る。		
		定期講座講座数	16講座 350回	16講座 360回	17講座 370回									
		16講座 350回	16講座 358回	17講座 385回										
2	分館運営事業	事業費	4,122	4,122	4,122	サークル講座 33グループ	4	4	3	B	実施方法改善	安全な公民館活動を実施し、中央公民館代替施設として、一部、夜間利用を開始した。さらに終日(午前、午後、夜間)開館を検討する。	予算を伴わない改善に着手	
		サークル講座数	33グループ	33グループ	33グループ									
		27グループ	29グループ	27グループ										
3	図書貸出事業	事業費	51,072	58,945	49,119	200,000	5	4	4	A	現状維持	昨年度より貸出冊数、貸出者数ともに増加しており、図書館の利用につながっていることが伺える。今後も来館者により良いサービスを提供できるように継続していく。		
		冊数	200,000	200,000	200,000									
		180,843	180,198	182,410										
4														
事業費(決算額)の合計			57,734	65,737	56,175									
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)		100	500	0									
	一般財源		57,634	65,237	56,175									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)



【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-2-⑤

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	地域参画促進事業 1/2			担当課	生涯学習課						
まちづくりの指針後 後期間(最終年度R9) における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期期間(最終年度R5)における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり				
	基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				
						重点施策該当項目					
基本事業の概要	市民が地域の学びや交流の場に主体的に参加し、住民同士のつながりや社会教育活動の活性化を図ることを目的に、定期講座の開設等コミュニティセンターの運営や、20歳を祝う会(旧成人祝賀式)、美術展覧会、社会教育団体の活動支援などを行う。										
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン				
	社会教育団体、市民(事業により、20歳を祝う会対象者、美術展覧会出品者・来場者)			地域の学びや交流の場への参加を促し、住民同士のつながりや社会教育活動の活性化を図る							
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方	
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値			
中央公民館利用者数	中央公民館利用状況調	人	40,593	40,000	40,249	40,000	28,327	30,000	0	中央公民館は利用者減少、分館は利用者増加を目標とする。 社会教育関係団体数は現状維持を目指し、葛城コミュニティセンター利用者数、20歳を祝う会出席率、美術展覧会の来場者数は増加を目標とする。	
分館利用者数	分館利用状況調	人	5,431	6,000	6,423	7,000	7,355	8,000	10,000		
葛城コミュニティセンター利用者数	年間利用者数	人	12,206	14,000	15,449	15,000	16,330	16,000	17,000		
社会教育関係団体数	各団体の総数	団体	4	4	4	4	4	4	3		
20歳を祝う会出席率	出席者数/対象者数	%	76	80	73	80	69	80	80		
美術展覧会来場者数	開催期間の来場者数	人	1,311	1,000	1,149	1,300	1,100	1,300	1,300		

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	令和8年度の方向性	評価視点に基づき記載すること	令和7年度時点で改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					
			指標	目標値	目標値									
1	中央公民館施設管理事業	事業費	14,070	14,269	14,062	0	4	4	3	B	実施方法改善 建物の老朽化が進んでいるが公民館閉鎖を見据え、安全確保・事故防止に努め現状維持を継続する。利用者の活動場所を他の施設へ移行する。	予算を伴わない改善に着手		
		年間開館日数	289	288	284									
2	分館施設管理事業	事業費	3,149	3,988	2,499	289	3	4	4	A	現状維持 建物の老朽化が進んでおり、修繕が必要。将来の方向性を継続的に検討する。			
		年間開館日数(平均)	266	266	262									
3	葛城コミュニティセンター施設管理事業	事業費	11,435	17,866	16,225	289	4	4	4	A	現状維持 年間利用者が増加し、葛城コミュニティセンターの利用につながっているが伺える。今後もより多くの地域住民に生涯学習の機会を提供し、本市の文化の向上を図る。			
		年間開館日数	289	288	288									
4	葛城コミュニティセンター定期講座事業	事業費	654	708	780	17講座 187回	4	4	4	A	現状維持 定期講座の受講生数及び年間利用者数も令和5年度よりも増加したことは評価できる。今後もより良いサービスを提供し、貸館や定期講座を続けていく。			
		定期講座講座数 開催回数	16講座 187回	16講座 183回	17講座 186回									
事業費(決算額)の合計			-	-	-									
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)	-	-	-										
	一般財源	-	-	-										

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)


【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額(千円)
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-2-⑤

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	地域参画促進事業 2/2			担当課	生涯学習課						
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり				
	基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				
						重点施策該当項目					
基本事業の概要	市民が地域の学びや交流の場に主体的に参加し、住民同士のつながりや社会教育活動の活性化を図ることを目的に、定期講座の開設等コミュニティセンターの運営や、20歳を祝う会（旧成人祝賀式）、美術展覧会、社会教育団体の活動支援などを行う。										
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)					SDGsアイコン		
	社会教育団体、市民(事業により、20歳を祝う会対象者、美術展覧会出品者・来場者)			地域の学びや交流の場への参加を促し、住民同士のつながりや社会教育活動の活性化を図る							
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標設定の理由・考え方	
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値			
中央公民館利用者数	中央公民館利用状況調	人	40,593	40,000	40,249	40,000	28,327	30,000	0	中央公民館は利用者減少、分館は利用者増加を目標とする。 社会教育関係団体数は現状維持を目指し、葛城コミュニティセンター利用者数、20歳を祝う会出席率、美術展覧会の来場者数は増加を目標とする。	
分館利用者数	分館利用状況調	人	5,431	6,000	6,423	7,000	7,355	8,000	10,000		
葛城コミュニティセンター利用者数	年間利用者数	人	12,206	14,000	15,449	15,000	16,330	16,000	17,000		
社会教育関係団体数	各団体の総数	団体	4	4	4	4	4	4	3		
20歳を祝う会出席率	出席者数/対象者数	%	76	80	73	80	69	80	80		
美術展覧会来場者数	開催期間の来場者数	人	1,311	1,000	1,149	1,300	1,100	1,300	1,300		

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性				
			指標	目標値	目標値								
5	社会教育関係団体育成事業	事業費	918	1,145	1,403	430	3	4	2	B	各団体独自の活動の他、市行事等へも積極的に参加され、地域文化の向上に寄与している。今後補助金含む活動内容の見直し等を各団体に助言していく必要がある。	既に改善済み	
		会員総数	450	450	415								
6	20歳を祝う会事業	事業費	1,032	791	736	480	4	4	3	B	対象者に対して出席者が年々減少しており、出席率を向上させる工夫が必要である。今後もよりよい「20歳を祝う会」を行うために協議をした上で行事を継続していく。	既に改善済み	
		出席者数	432	480	345								
7	大和高田市美術展覧会事業	事業費	815	745	712	250	4	4	3	B	出展者数、来場者数ともに減少。広報活動を工夫するなどして、今後よりよいサービスを提供し、どのように来場者を増加するか協議の上、事業を継続していく。	既に改善済み	
		出展者数	200	250	202								
8													
事業費(決算額)の合計			32,073	39,512	36,417								
事業費(決算額)の内訳			特定財源(国・県支出金、市債など)	0	0	0							
			一般財源	32,073	39,512	36,417							

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)





【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-2-⑥

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	文化財保護・活用推進事業				担当課	生涯学習課					
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり				
	基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				基本施策	1-2 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備				
						重点施策該当項目	-				
基本事業の概要	地域に所在する貴重な文化財の保護及び有効活用を図ることを目的として、保存環境の整備・修復対応の実施に加え、広く市民や次世代への理解・関心を促すため、夏休み親子体験教室、大和高田の文化財めぐり、文化財講座、ウォーキングイベント等の活用施策を推進する。										
基本事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいか)				SDGsアイコン		
	文化財				地域への愛着や歴史認識を深め、人々の交流促進や教育機会の創出を図るため、保護及び利活用する。				 		
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方	
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値			
市指定文化財件数	-	件	12	12	14	15	17	18	27	年3件増を目標とする。	
文化財活用事業参加者数	-	人	262	288	269	288	262	288	348	参加希望者増を目標とする。	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	令和8年度の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					
			目標値	目標値	目標値									
1	文化財保護事業	事業費	2,369	3,239	2,680	27	5	4	5	A	現状維持	市指定文化財の指定を年2・3件増やすという当初の目的は達成できていることから、それらを市民に幅広く周知し、保護意識を醸成する取組に繋げる必要がある。		
		市指定文化財件数	12	15	18									
2	文化財活用事業	事業費	729	761	705	140	4	3	5	A	現状維持	募集型のウォーキングイベントは季節や天候だけでなく、どのコースを巡るかによって参加者数に差が出ることから、新規指定した文化財を積極的に案内するなど、新コースを開拓する必要がある。		
		文化財ウォーキングイベント参加者数	120	120	120									
3	その他の経費	事業費	1,301	1,166	1,236									
4		事業費												
事業費(決算額)の合計			4,399	5,166	4,621									
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)													
	一般財源		4,399	5,166	4,621									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 1-3-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	国際交流事業			担当課	広報広聴課					
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり		【参考】まちづくりの指針前期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	1 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり				
	基本施策	1-3 国際交流の推進及び国際化社会への対応			基本施策	1-3 国際交流の推進及び国際化社会への対応				
					重点施策該当項目	—				
基本事業の概要	1963年締結の「リズモー市（オーストラリア・ニューサウスウェールズ州）と大和高田市（日本奈良県）の間の妹都市提携に関する盟約書」に基づいた姉妹都市交流を柱とし、国際化社会の推進を図る。また、多様な文化との交流を行う団体への補助や国際交流員を活用した事業により世界的視野を持つ人材育成に努める。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)				SDGsアイコン		
	市民と姉妹都市の市民			姉妹都市との友好関係構築の推進および国際社会に向けた人材育成、市民の国際感覚の醸成						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
相互派遣人数	相互派遣人数	人	-	-	12	12	12	12	12	実際に派遣する人数は姉妹都市側の状況にもよるので、国際交流への関心度の指標として相互派遣を希望する人数を30%増加
相互派遣応募人数(本市側)	相互派遣への応募人数	人	-	-	7	5	11	7	15	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価	
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					令和8年度の方向性
			指標	目標値	目標値									
1	国際交流事業	事業費	88	1,832	1,432	10	4	3	3	B	実施方法改善 当事業をきっかけに国際的視野を持った人材の育成に努めるとともに、両市間の交流も深めている。今後さらに補助金の活用や民間団体とも連携しながら長期的な展望をもった事業や、市民間での交流を促す機会となるような方法を検討する。			
		姉妹都市交流推進事業数	10	10	10									
		指標	8	9	8									
2	姉妹都市交流60周年記念事業	事業費	-	-	3,756		4	4	2	B	実施方法改善 リズモー市との姉妹都市締結周年事業のため令和6年度に限っての記念事業であり評価し難い。今後は市民団体や民間団体による主体的な交流活動をめざしていく。		△	
		指標	-	-	-									
		事業費	179	629	217									
4	その他経費	事業費												
		事業費												
		事業費												
事業費(決算額)の合計			267	2,461	5,405									
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)	0	0	0										
	一般財源	267	2,461	5,405										

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)



【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額(千円)
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
行政主体の姉妹都市交流ではなく、市民レベルの主体的な交流活動を重要であり、次回の周年事業の時期や内容について、より効果的な姉妹都市交流をめざし、市民団体や民間団体と連携しながら準備を進めていく。